

先生の名前

本の題名 この夏のこともどうせ忘れる

この本に描かれているのは、「高校生の夏」。
それは、決してキラキラと輝いているものではなく、どこことなく闇をまとったもの。

でも、そのじっとりとした闇の中にある、何とも言えない不思議な世界・・・。

ぜひ、夏に読んでほしい一冊！

